

1 あなたの学校や家での学習のことで教えてください。

■分析と今後の指導上の工夫

・「勉強が好きですか」「学校の授業がどの程度分かりますか」の肯定割合は100%であり、市の肯定割合を大きく上回っている。教科別に見ると、算数と特別の教科道徳で否定的な回答をしている児童もいることから、全ての児童が、勉強は楽しくよく分かると思えるような指導を心掛けていく。

・「1日の学習時間」についての設問では、平日は20分～1時間程度学習に取り組む児童が多い一方、土日は平日に比べ学習時間が短くなっている。今後、学校として家庭学習の進め方について保護者と一層の共有を図るとともに、一人一人の児童の実態に応じて声掛けをし学習習慣を確立していく。

・授業への取り組み方や勉強に対する気持ちや態度についての設問では、全ての項目で肯定割合は100%であり、学習への高い意欲が伺える。今後も、聞く態度の指導や、自分の考えを表現する活動の充実を図っていく。また、学ぶことの楽しさや、新たな学びを得る喜びなどを持ち続けられるよう、授業の内容や指導の仕方を工夫していく。

・「家庭での学習」についての設問では、全て市の肯定割合を上回っている。習ったことをその日のうちに復習することや、計画的な家庭学習への取組については、市の肯定割合を上回ってはいるものの、否定的な回答をしている児童もいる。上学年に向けて、目的意識をもった学習ができるよう指導していく。

2 あなたの毎日の生活について

■分析と今後の指導上の工夫

・挨拶については、100%できていると回答している。学校ではあいさつ週間や日々の指導の成果もあり、挨拶の大切さを意識してきていることが分かる。

・「学校や公共の決まりやマナーを守っていますか」の肯定割合は100%であり、児童が安全で落ち着いた生活をしている様子がうかがえる。

・読書については、平日も休日も10～60分程度読書している児童が多く、読書が習慣化されていることが分かる。

・動画視聴やゲームの時間は、個人差が大きい。平日も休日も3時間以上行っている児童もいる。家庭でゲームの時間についてルールを作り、きちんと守るよう呼び掛ける。

・自分自身や友達に関することについての設問では、肯定割合が多い。これからも教師が児童のよさを認め、それを伝えたり、学級活動の時間との関連を図り、児童が活躍できる場を設けたりすることで自己肯定感を高めていきたい。

・家での過ごし方についての設問については、肯定割合が多いが、「夜は決まった時間に寝ている」の回答で個人差が見られた。規則正しい生活の大切さを指導していく。

3 スマートフォンやけいたい電話について

■分析と今後の指導上の工夫

・スマートフォンや携帯電話を持っているが、フィルタリングを設定していない児童がいる。今後、さらに「スマホ・ケータイ宮っ子ルール共同宣言」の各家庭への周知徹底を図っていく。また、児童にもこの宣言についてしっかりと指導し、情報モラルについても指導していく。

4 あなたの体力やけんこう、食事、安全について

■分析と今後の指導上の工夫

・「体力」についての設問では、全ての項目で市の肯定割合を上回っており、児童は運動の大切さを理解している。

・食事の習慣や環境、食事のマナーや栄養に関する項目については、個人差はあるものの肯定割合が高い。食事のマナーや栄養バランスなど、校内給食週間や普段の給食での指導を通して、一人一人の意識が高まったように思う。今後も食事マナーについて声を掛けながら指導していく。

・「安全」についての設問では、全ての項目において肯定割合が100%であった。交通ルールをしっかりと守り、不審者に対する自分の行動も気を付けて行動している。自分自身や、身の回りの人たちに対する意識を高くもち、安全な行動について、児童自身で考えさせるように、今後も指導していく。